

主日礼拝

2023年5月21日
午前10時30分

前奏 「主の昇天こそ(讃 336)」(J.S.バッハ)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「しかし、まことの礼拝をする者たちが、
霊と真理をもって父を礼拝する時が来る。
今がその時である。
なぜなら、父はこのように礼拝する者を
求めておられるからだ。」 (ヨハネ 4:23)

頌栄 24 「たたえよ 主の民」

たたえよ主のたみ、みつかいととも、に、
めぐみにあふれるちち・子・せいれいを。
アーメン。

交読詩編 105:1~5

司式者：主に感謝をささげて御名を呼べ。

会衆：諸国の民に御業を示せ。

司式者：主に向かって歌い、ほめ歌をうたい

会衆：驚くべき御業をことごとく歌え。

司式者：聖なる御名を誇りとせよ。

会衆：主を求める人よ、心に喜びを抱き

司式者：主を、主の御力を尋ね求め

会衆：常に御顔を求めよ。

司式者：主の成し遂げられた驚くべき御業と奇跡を

会衆：主の口から出る裁きを心に留めよ。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。

我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ エレイソン キリエ エレイソン
しゅよあわれみを しゅよあわれみを
キリエ エレイソン
しゅよあわれ - - イソソ
しゅよあわれ - - みを

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン
しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを しゅよ、あわれみを

* 「キリエ・エレイソン」は、「しゅよ、あわれんでください」という意味。

聖書 マタイによる福音書 28:16~20

新約(新共同訳) P60

16さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示しておかれた山に登った。17そして、イエスに会い、ひれ伏した。しかし、疑う者もいた。18イエスは、近寄って来て言われた。「わたしは天と地の一切の権能を授かっている。19だから、あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。彼らに父と子と聖霊の名によって洗礼を受け、20あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

賛美 336 「主の昇天こそ」

Auf Christ Himmelfahrt allein
ER: Ernst Sonnemann, 1630-1670 ES IST GEWISSLICH (NUN FREUET EUCH)
B: Gleichen Lieder, 1529

1 主のしよ うてんこ そわ が身のぞ み。
2 いすこ にわれらの 懸いあるべき。
3 ああ、主よ、まことの信仰に立ちて
み国を望みて、みあとをたどらん。
喜びだきて この世を去りゆく
恵みをたまえ。

1 主の昇天こそ わが身の望み。

主こそわがかしら われら主の肢体。
おののきさまよう われもいつの日か
み国に昇らん。

2 いすこにわれらの 懸いあるべき。
わが主のまします み国を慕う。
わが心はただ 主イエスにあこがれ、
ひたすらもとむ。

3 ああ、主よ、まことの信仰に立ちて
み国を望みて、みあとをたどらん。
喜びだきて この世を去りゆく
恵みをたまえ。

説教 「復活の主イエスと共に」

賛美 405 「すべての人に」

詞：由木康、1896-1985

FUKUIN
曲：岡本敏明、1907-1977

す- べてのひ と にの- べつたえよ、
か- みのたま え るよ きしらせを。
ち ちなるか み はみ 子をくだ し、
す- くいのみ ち をひ- らきませり。

1.すべての人に のべつたえよ

神の賜える よき知らせを
父なる神は み子をくだし
すくいのみちを ひらきませり

3.十字架のうえに 死にたまえる

み子こそ永久の すくいなれば
神の賜える この知らせを
地のはてまでも 告げひろめよ

2.あまねくのべよ よき知らせを

まことの幸を もとめつつも
むなしきものに さそわれゆく
世の人々に のべつたえよ

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメンアーメン

後奏 「ハレルヤプレリュード」 (F.シュミット)

司式 大代 恵
説教 向井 希夫牧師
奏楽 福原 之織